

人事異動あいさつ



文部科学事務次官

ふじわら あきお
藤原 章夫

8月8日付で文部科学事務次官を拝命しました。

日本社会が大きな転換点を迎えている中、公教育の再生が社会から強く求められています。こうした中、6月の政府の骨太方針において、来年度からの3年間で集中改革期間として、教師の働き方改革、処遇改善、指導・運営体制の充実、育成支援を一体的に進めていくことと位置付けられました。

これからはそれを予算の確保や制度改正を通じて実質化していく段階に入ります。

総力を挙げてこうした当面する課題に取り組んでいきたいと思っておりますので、関係各位のご指導、ご支援の程、よろしくお願いいたします。



文部科学審議官

ふじえ ようこ
藤江 陽子

8月8日付で文部科学審議官を拝命いたしました。

前職の総合教育政策局長としては1年弱でしたが、学制150年を迎えたタイミングで、教育振興基本計画の策定、少子化対策をはじめ、教師不足への対応、コミュニティスクールを通じた学校と地域の連携促進、学校安全の確保、外国人児童生徒への教育、学校DXの推進等々、様々な重要課題に教育委員会の皆様方のお力もいただきながら携わることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。

未来に向けて社会の創り手を育成していく文部科学行政の役割は極めて重要であり、新たな教育振興基本計画の大きな柱の一つでもある「ウェルビーイングの向上」を図りつつ、しっかりと進めていけるよう全力を尽くしていきますので、皆様方の引き続きのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。



初等中等教育局長

やの かずひこ
矢野 和彦

8月8日付で、初中局長に就任いたしました。

初中局では、これまで、小学校課、児童生徒課、財務課、初中企画課などで勤務し、今回で7回目です。学校の働き方改革は、初中企画課長の時に特別部会を設置し検討を始めました。GIGAスクール構想は審議官の時に初代チームリーダーとして構想を練りました。

今後、我が国が内向きにならず、世界の成長と発展を牽引する存在となるよう貢献し、マイナスからのスタートとなっている子供たちの真の教育の機会均等を目指す教育、これが私のミッションだと考えています。文字通り、全身全霊を懸けて当たりたいと考えております。



総合教育政策局長

もちづき ただし
望月 禎

総合教育政策局長を拝命しました。

前職の官房長職をはじめ、ここ数年、官房業務に従事していましたので、新たな業務に新鮮な気持ちで取り組んでまいります。総合教育政策局では、教員の魅力向上につながる改革、チーム学校と連動して地域全体で子供を守り育てる体制づくり、学校安全の確保、専修学校の振興、教育 DX の推進、日本人学校の環境整備など幅広い業務を担当しています。また、来年4月からは、日本語教育も新たな課で担当します。各分野について、実情を踏まえて、必要な改革・充実に努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



官房長

いのうえ ゆいち
井上 諭一

8月8日付けで、官房長を拝命いたしました。

文部科学省においては、教師の働き方改革や GIGA スクール構想の推進、学校施設の整備、更にはスポーツ立国や文化立国を実現するための取組や、低下している研究力の引き上げなど、重要課題が山積しています。省全体の調整役として、それぞれの課題への対応が十分に進むよう、しっかりと職務に取り組んでまいります。

関係の皆様方の声をお聞かせいただきながら微力を尽くしてまいります所存ですので、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



大臣官房学習基盤審議官

あさの あつゆき
浅野 敦行

8月8日に大臣官房学習基盤審議官に着任しました。

2年前まで、初等中等教育企画課長として、コロナ対応や GIGA スクールの推進、そして令和の日本型学校教育のとりまとめを行いました。その後、会計課長としてデジタル教科書の英語の一斉導入など財政面でのアシストを、前職では、子ども家庭庁で、いじめ不登校や就学前のこどもの育ちなどに文科省から離れた立場で関わりました。今後、端末の更新や活用推進、不登校児童生徒等の学びを止めない受け皿づくりなどに邁進していきます。



大臣官房教育改革特別分析官(命)
文部科学戦略官

かじやま まさし
梶山 正司

8月8日付けで教育改革特別分析官(命)文部科学戦略官を拝命いたしました。
これまでに初中教育関係では、健康・安全教育、教育課程、産業教育、教科書等を担当してまいりましたが、この度、いじめ、不登校や高等学校にかかわる課題、こども家庭庁と文部科学省との連携に関する事項などの特命業務について担当することとなりました。教育界の主体的な改革への動きとコロナや社会の変化等の影響による、不易と流行を見据えて初等中等教育の充実に全力で取り組んでまいりたいと存じますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



総合教育政策局政策課長(命)
初等中等教育局教育課程総括官

たきなみ やすし
滝波 泰

8月8日付で総合教育政策局政策課長(命)初等中等教育局教育課程総括官を拝命しました。
前職では学校法人のガバナンス改革や私立学校の振興を担当いたしました。
当課勤務は2008年以来15年ぶりとなりますが、この間にも時代や社会の変化に応じて、教育を巡る政策課題への対応は益々複雑・高度化してきていると感じています。
これまでの経験も活かしつつ、新しい教育振興基本計画の着実な推進、中教審における各般のご審議を通じた様々な教育改革の一層の進展などに向け、皆様方と一緒に微力を尽くしてまいれる所存ですので、温かいご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



初等中等教育局財務課長

やすい じゅんいちろう
安井 順一郎

8月8日付で初等中等教育局財務課長を拝命しました。
前職の教科書課では、デジタル教科書導入の検討や教科書無償給与、教科書採択などを担当し、大変お世話になりました。財務課勤務は初中局企画官を務めて以来7年振りですが、入省時の最初の配属から今回で4回目の勤務となります。
学校の教育課題が複雑化する中、先生方が教育の専門職として教師でなければできない業務に集中でき、持続可能な教育環境を整備することが喫緊の課題です。現在、中教審において、学校における働き方改革、教師の処遇改善、学校の指導・運営体制の充実の一体的・総合的推進についてご審議いただいておりますが、子供たちがこれからの時代を主体的で創造力豊かに生きる力を育む先生方のご尽力を支えられるよう、全力を尽くしてまいります。皆様方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



8月8日付けで、初等中等教育局教科書課長を拝命いたしました。

前職では、総合教育政策局地域学習推進課長として、学校運営協議会、読書活動の推進、社会教育全般を担当しておりました。初等中等教育については、前職のほか、平成19年に鹿児島県で義務教育課長、平成27年から29年にかけて、教科書課、初等中等教育企画課、財務課で様々な課題に携わりました。教科書課では、デジタル教科書の活用推進、教科書の検定・採択・発行・供給の円滑な実施などが重要課題です。微力ではありますが、新しい時代を見据えた教育の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

初等中等教育局教科書課長

おおち よしたか
黄地 吉隆